



すぎの木通信

2020年8月24日(月) No.138

発行：特定非営利活動法人しさを
就労継続支援B型 ワークプラザすぎの木
宍粟すぎの木家族会
☎0790-65-0170 FAX 65-0177
〒671-2506 宍粟市山崎町宇野 319 番地

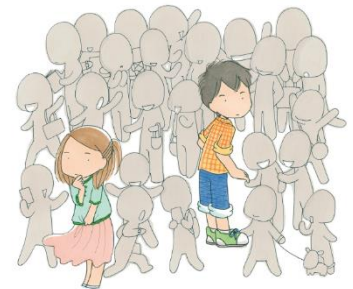
連載 心の病 (4)

「統合失調症」 注意しなければならないこと

宍粟すぎの木家族会会長 (NPO法人しさを 副理事長) 上垣 迪雄

■心理療法または精神療法のこと

『統合失調症の患者さんは、幻覚や妄想といったこれまでに体験したことのない恐怖と、それを他者に打ち明けたところで理解されることはないだろうという圧倒的な孤独の中にいます。このような状態にある方に関わる治療者は、まず、信頼関係を結び、そして、落ち着きや意欲を取り戻すことを手助けする役割を果たすことになります。具体的には、患者さんの話をよく聴き、理解を言葉や態度で示し、ねぎらいや励ましの言葉を添えます。このことを、精神科では「傾聴」と呼び、基本レベルの精神療法において最も大切にします。傾聴を続けながら、混乱状態にある患者さんの言葉を少しずつ整理していきます。病気についての説明、治療への取り組み方についての情報提供も少しずつ行いますが、指示や説得は最小限にとどめます。



応用レベルの精神療法とは、あくまで基本レベルの精神療法の土台の上で、そこに加えて、患者さんの具体的な問題、たとえば対人関係の悩みやネガティブな思考パターンに対し、それを変化させる働きに相当します。

統合失調症の治療は薬物療法が中心である、と繰り返し述べてきました。薬物療法についても、それはあくまでも基本レベルの精神療法を前提とした上での話です。』

■薬を使わない治療という選択

『統合失調症の治療において抗精神薬を一切使わない、という考えには、私は同意できません。特に急性期には、できるだけ早く精神病状態を収束させることは、生命を守るという点でも欠かすことのできないことです。そして、このことは私一人の考えではなく、現代医学のスタンダードな考えです。』



■病識と妄想

『統合失調症の特徴の一つ目が「病識の欠如」です。自分は病気ではないと思うこと。

病識と大きく関係する問題として妄想という症状があります。ところが、なんと不思議なことに、経験豊富な精神科医でさえ、妄想の定義をすらすらとこたえることはできないと思います。

高血圧の定義は難しくないのに、どうして妄想の定義は難しいのでしょうか。血圧の場合は、物理的に計ることができます。妄想は、そういうことが出来ません。』

私が、前立腺の治療を受けていることは、本通信のNo.136で書きました。診察の前に、いつも血液検査と、尿検査をうけます。医師は、そのデータを見て、それに加えて私の様子を聞いて下さいます。

また、『統合失調症を持つ人は平均寿命が短い。その原因と考えられるものは次のような点です。

1. 自殺

精神科の病気のうち、自殺との関係がよく知られているのはうつ病ですが、あるデータによると、統合失調症を持つ人の自殺リスクは、うつ病と同等かあるいはそれより高いとのこと。

では普通の人々が自殺する理由は何でしょうか。たとえば孤独とか人生での行き詰まりとか、あるいは健康上の問題とか様々なものがあります。つらい人生をアルコールで紛らわせ、アルコール依存症がさらにうつ状態や、衝動性の原因になり自殺のリスクを高めるといふこともあります。

統合失調症を持つ人は、病気そのものによるつらさに加え、社会が持つこの病気への偏見によって苦難が上乗せされます。こういうことも高い自殺率の原因の一つとなっています。

2. 身体疾患

統合失調症を持つ人は、身体的な健康に対する管理レベルが落ちるのです。

健康管理の不十分さは、そうした病気そのものによる結果だけではありません。青年期から成人期前期に病気が始まることも関係し、教育歴が低くなる傾向があり、また、就職を考える時期にこの病気のもっとも悪い時期を迎えることがあることから、収入の低い人が多くなります。統合失調症の患者さんは社会的ステータスにおいて弱者の位置にある方が多くなります。教育水準が低いことは、収入の低さとも関連があります。

☐次号 No.139に続く ※ステータス…地位、身分、状況など



新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から

書面表決の方法で総会を開催

■NPO 法人しさわ

令和2年度通常総会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から NPO 法第 14 条の9の規定による「みなし総会」として、理事長からの議案提案を郵送による書面表決で行い、正会員 26 名全員が提案された議案について承認し、今年度の通常総会は完了しました。

なお、今期は役員改選の時期となり、令和2年7月から始まる第9期役員(理事8名・監事2名)を提案通り承認いただきました。そして、第9期の任期が始まった7月1日(水)に理事会を開催し、正副理事長を選任しました。今期の改選による役員は右のとおりです。よろしくお願いします。(敬称略 住所は町名まで記載しています)

役職名	氏名	住所	再任新任の別
理事長	赤松 茂毅	穴粟市山崎町	再任
副理事長	上垣 迪雄	穴粟市波賀町	再任
副理事長	柳田 哲夫	穴粟市山崎町	新任
理事	衣笠千代子	穴粟市山崎町	再任
理事	香山 節子	穴粟市山崎町	再任
理事	竹添 和子	穴粟市山崎町	再任
理事	朽尾 隆治	穴粟市一宮町	再任
理事	濱田婦美子	穴粟市山崎町	再任
監事	大砂 彰	穴粟市山崎町	再任
監事	鳥居 政義	穴粟市千種町	再任

NPO 法人しさわの今年度通常総会で承認された令和元年度事業報告書・決算報告書・監査報告書と令和2年度の事業計画書

と予算については、当法人ホームページ (<http://shisawa.jp>) からご覧になれます。

ここでは令和元年度の決算状況の概要をお知らせしておきます。なお、今期の決算では、コロナ禍の中で令和2年度に仕事がなくなる可能性があることや事業所への通所ができない状況も考えられることから、決算時点での増減差額分をそういった緊急事態に備えることから、作業製造部門の増減額 726,133 円を「コロナ対策工賃用特定資産」として縛りをかけて預金化することにしました。今年 4 月 13 日から 5 月末まで午前と午後の班にわけて分散通所の対応をしましたが、これによる工賃の補填をこの預金から支払いました。

部門別のNPO法人しさわの令和元年度決算状況

部門別 項目	合計	就労支援	作業・製造	相談支援	本部会計
		運営部門	販売部門	事業部門	
経常収益合計	42,649,358	32,253,730	9,070,113	1,171,170	154,345
経常費用合計	41,972,551	30,317,468	8,343,980	2,111,375	1,199,728
当期経常経費増減額	676,807	1,936,262	726,133	▲940,205	▲1,045,383

(単位:
円)

■宍粟すぎの木家族会（会員 30 名）

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、今年度の家族会の総会は、三密を避けた形の総会（郵送による議案の書面表決）とすることを6月23日開催の役員会で協議決定しました。これに基づき、今年度の総会議案を6月29日に会員へ送付し、ハガキによる書面表決書を返送していただきました。

その結果、令和2年7月6日（月）までに会員数30名中22名から全議案について原案通り承認するご返事をいただきました。よって、会員の過半数以上の承認を得ましたので、令和2年度の書面表決による総会は完了したことをお知らせします。（宍粟すぎの木家族会事務局）

コロナ禍で ワークプラザ **すぎの木の運営もピンチ**

お餅やあげおかき、木工品の売り上げにご協力ください！

新型コロナウイルスの感染拡大で日本はもとより世界中で大変なことになっています。障がいのある方や心の病を抱えたみなさんが毎日通う当所も同様に大きな痛手を被っています。3月から5月にかけては当所の主力事業のお餅の製造がピンチになりました。毎年市内の神社やその氏子の皆様からご注文をいただく春のお祭りのお餅が祭りの中止や開催規模縮小で注文がいただけず、この3か月の事業収益が昨年同期に比べ30%減少し、とくに5月は昨年同期の52%減という状況になりました。そのほか、市内の企業からいただく請負の仕事も減り、その企業へ同ってお仕事をする「施設外就労」は、5月だけで40%落ち込みました。国の緊急事態宣言が解除された後は、少し持ち直しましたが、7月下旬から、また感染者が増えており、8月以降、とくに秋のお祭りなども春と同様に中止または規模を縮小しての開催となる見込みで、お餅の注文もさらに減るのではと心配しています。

こういう状況をお察しいただき大変心苦しいのですが、お餅やあげおかきの購入、木工品の販売にご協力いただくとともに、アルミ缶の回収リサイクルの活動にもご協力をお願いします。



- 写真左：ワークプラザすぎの木で製造しているお餅（1升1,800円とあげおかき（1袋270円）
- 写真中央：宍粟産ヒノキ材のお盆（2,000円）
- 写真右：ひのき製連結トレイン（10cm×15cm×5cm 2,000円）表示価格はいずれも税込みです。

神出病院の医療従事者による集団暴行事件に関する神戸市への申し入れ相次ぐ！

神戸市が神出病院へ改善命令

この事件については、当通信No.137号で既報のとおりですが、事件が発覚した今年3月以降、兵庫県精神医療人権センター、兵庫県精神福祉家族会連合会（通称「ひょうかれん」）、神戸市精神障害者家族会連合会、神戸市精神障害者社会復帰施設連盟などが、神戸市に対して同事件に対する的確な対応や今後の改善策についての要望書の提出、さらには神戸市議会に対して陳情活動を行う等、このような出来事が二度と起こらないようにするための申し入れが相次いで行われました。

新聞報道によれば、神戸市は8月17日、神出病院に対し、精神保健福祉法に基づき同事件に対する改善命令を出したとのこと。また、事件発覚後、同病院の元看護師2名の有罪が確定しています。神戸市は、2月から7月にかけて臨時の同病院での実地指導を計6回実施し、関係職員や患者らへの聞き取りで、暴行があったと認定しています。

私たちは、この事件が報道されたことにより、大きなショックを受けています。そして、精神障害がある方やその家族や親族、関係者、支援者の驚きはとても大きく、精神科医療に対する不安や不信を抱くことになったことは否めません。今後は、こういう事件が二度と起きないようにしていくための取り組みを引き続き強化していきたいと思えます。（文責：事務局 山本正幸）

NPO 法人しさわの賛助会員を募集しています！

当法人が運営しております「ワークプラザすぎの木」は平成23年4月より障害のある方が通う就労支援B型施設として、現在25名の通所者（登録者）とともに作業を行っております。餅製造や給湯器のリサイクル、ワイヤーパッケージ作業、木工品づくり等、事業を拡大して来ておりますが1年間を通じて安定した収益を上げながら、通所者の個別の状態に応じた支援を提供していくためには、まだまだ困難な状況にあります。また、本年は新型コロナウイルスの感染症対策でお餅作業も含め仕事が激減しています。

このような状況をご賢察いただき、財政的にご支援いただく賛助会費（会員）を募集しています。みなさまのご理解とご協力をお願いします。

■1口1,000円（1口以上のご協力をお願いします）

■ご協力いただける方は、次の銀行口座へ振込みいただくか、直接当所へ会費をお届けいただければ幸いです。（振込手数料が必要な場合は恐れ入りますがご負担下さい）

■西兵庫信用金庫 本店 普通 0920448

名義：特定非営利活動法人しさわ 理事長 赤松 茂毅

■ハリマ農業協同組合 本所 普通 0066284

名義：特定非営利活動法人しさわ 理事長 赤松 茂毅

■兵庫西農業協同組合 山崎支店 普通 0085636

名義：ワークプラザすぎの木 代表 赤松 茂毅



編集後記：◇コロナ禍の中で「自粛」「三密」「ソーシャルディスタンス」「ポストコロナ」「アフターコロナ」「オーバーシュート」「ロックダウン」「オンライン飲み会」などなど。初めて聞く言葉がたくさん出現しました。人と人との「つながり」と「ふれあい」を創ることを主眼とした仕事をしてきた私にとって、この新型コロナウイルスはそれを否定する対応をしないとイケないものでした。しかし、コロナ禍の中でも、やはり人間はつながっていないとイケないし、一人では生きていけません。新型コロナウイルスは、そういった人間の価値観や社会観をあらためて問い直す機会をつくってくれたと思っています。集まることがよくないと言いつつも、やはり人と人とのつながりは必要です。つながりを大切にしながらみんなでこの危機を乗り越えなければなりません。◇猛暑の毎日です。皆様どうぞご自愛ください。（M）